

資料1 「活用」を意識した授業の実践と学習指導要領小学校、中学校、高等学校「国語総合」の内容の系統との関係

「話すこと・聞くこと」の指導事項

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年		中学校1年	中学校2年	中学校3年		高等学「国語総合」
○話すことに関する指導事項	イ 相手に応じて、話す事柄を順序だてて、丁寧な言葉と普通の言葉の違いに気をつけて話すこと。	エ 話の中心に気をつけて聞き、質問をしたり感想を述べたりすること。	イ 目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら、場に応じた適切な言葉遣いで話すこと。	○話すことに関する指導事項	イ 全体と部分、事実と意見との関係に注意して話を構成し、相手の反応を踏まえながら話すこと。	イ 異なる立場や考えを想定して自分の考えをまとめ、話の中心的部分と付加的な部分などに注意し、論理的な構成や展開を考えて話すこと。	ア (〈課題設定や取材〉社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、) 語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする。	○効果的に話すこと、的確に聞くことに関する指導事項	イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。
○聞くことに関する指導事項	エ 大事なことを落とさないようにしながら、興味を持って聞くこと。		エ 話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめること。	○聞くことに関する指導事項	エ 必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理すること。	エ 話の論理的な構成や展開などに注意して聞き、自分の考えと比較すること。	ウ 聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分のものの見方や考え方を深めたり、表現に生かしたりすること。		
○話し合うことに関する指導事項	オ 互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うこと。	オ 互いの考えの共通点や相違点を考え、司会や提案などの役割を果たしながら、進行に沿って話し合うこと。	オ 互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合うこと。	○話し合うことに関する指導事項	オ 話し合いの話題や方向をとらえて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして、自分の考えをまとめること。	オ 相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、互いの発言を検討して自分の考えを広げること。	エ 話し合いが効果的に展開するように進行の仕方を工夫し、課題の解決に向けて互いの考えを生かすこと。	○工夫して話し合うことに関する指導事項	ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。

「書くこと」の指導事項

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年		中学校1年	中学校2年	中学校3年		国語総合
○構成に関する指導事項	イ 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。	イ 文章全体における段落の役割を理解し、自分の考えが明確になるように、段落相互の関係などに注意して文章を構成すること。	イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。	○構成に関する指導事項	イ 集めた材料を分類するなどして整理するとともに、段落の役割を考えて文章を構成すること。	イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にして、文章の構成を工夫すること。	ア (〈課題設定や取材〉社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。	○論理的な構成や展開を工夫して書くことに関する指導事項	イ 論理的な構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。
○記述に関する指導事項	ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながら、つながりのある文や文章を書くこと。	ウ 書こうとするものの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて書くこと。	ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。	○記述に関する指導事項	ウ 伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くこと。	ウ 事実や事柄、意見や心情が相手に効果的に伝わるように、説明や具体例を加えたり、描写を工夫したりして書くこと。	イ (〈題材選定・取材〉相手や目的に応じて題材を選び、) 表現を工夫して書くことに関する指導事項	○(〈題材を選び、) 表現を工夫して書くことに関する指導事項	ア (〈題材選定・取材〉相手や目的に応じて題材を選び、) 文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。
		エ 文章の敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。	エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。					○適切な表現の仕方を考えて書くことに関する指導事項	ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。

「読むこと」の指導事項

	小学校 第1学年及び第2学年	小学校 第3学年及び第4学年	小学校 第5学年及び第6学年		中学校1年	中学校2年	中学校3年		国語総合
○効果的な読み方に関する指導事項			イ 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫すること。						
○説明的な文章の解釈に関する指導事項	イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。	イ 目的に応じて、中心となる語や文をとらえて段落相互の関係や事実と意見との関係を考え、文章を読むこと。 【三和小学校：本時】	ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。	○文章の解釈に関する指導事項	イ 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見などを読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨をとらえたりすること。	イ 文章全体の部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること。	イ 文章の論理的展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てること。	○文章を的確に読み取ること、要約や詳述を要することに関する指導事項	イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。
○文学的文章の解釈に関する指導事項	ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。	ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。	エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。	○文章の解釈に関する指導事項	ウ 場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容の理解に役立てること。 【明治中学校：本時】			○表現に即して読み味わうことに関する指導事項	ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。 【常滑高等学校：本時】
○自分の考えの形成及び交流に関する指導事項	エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。 オ 文章の内容と自分の経験とを結びつけて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。	エ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。 オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いのあつことに気付くこと。	オ 本や文章を読んで考えらることを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。	○自分の考えの形成に関する指導事項	エ 文章の構成や展開、表現の特徴について、自分の考えを持つこと。 オ 文章に表れているものの見方や考え方をとらえ、自分のものの見方や考え方を広げること。	ウ 文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをまとめること。 エ 文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。	ウ 文章を読み比べるなどして、構成や展開、表現の仕方について評価すること。 エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見を持つこと。	○表現の仕方を評価すること、書き手の意図をとらえることに関する指導事項	エ 文章の構成や展開を確かめ、内容の表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。 オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。